

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

伊勢湾北中部地区海難救助連絡協議会訓練
-10月9日(火) 四日市市漁協-



10月9日(火)、四日市市漁協において、海難救助訓練講習会が開催された(主催:伊勢湾北中部地区海難救助連絡協議会)。

当日は、漁業者や漁協職員等約40名が参加。海上保安部からは、今年2月より着用義務化となったライフジャケットについて、正しい着用法と点検方法についての講習、四日市南消防署からは心肺蘇生法や事故直後の対応について講習が行われた。その後、磯津漁港岸壁にて、地元漁業者によるライフジャケットを着用した落水訓練も行われ、落水した際に自力で乗船するための縄梯子の重要性も周知された。

担当者は「今後も海上保安部や警察、消防、漁協組合とも連携を図り、海難事故がゼロになるように周知・広報活動にも尽力していきたい」と話していた。

マリーナ河芸海浜清掃
-10月14日(日) マリーナ河芸-

10月14日(日)津市・マリーナ河芸において、岐阜県白川町森林組合主催の海浜清掃が開催された。

同組合と三重漁連は、以前から岐阜県内において実施している『山・川・海をつなぐ未来の森林造成運動』で交流を深めていたことから、海山交流事業として平成28年度から三重県内での海浜清掃も行われている。

当日は、白川町森林組合や地元住民などから92名が参加し、海岸線に漂着した流木ゴミやガラスの破片などを約1時間かけて集積した。三重漁連服部常務理事は、「豊かな海を残すために海浜清掃を通じて山・川・海をつなぐをより多くの人に知ってもらえれば」と話していた。10月20日(土)には、県内水産関係者約90名が岐阜県白川町で森林整備活動を行う予定。



環境基礎講座
—10月13日(土) 津市環境学習センター—

10月13日(土)、津市環境学習センターにて、環境基礎講座が開催された。

同講座は、環境破壊や地球温暖化などのあらゆる環境問題について学習し、幅広い知識を身に付けることを目的に「新雲出川物語推進委員会」が開催している。

講義では、中勢森林組合理事参事の山崎昌彦氏より「津市の自然環境（森林の現状）について」と題し、津市の森林資源の現状や、森林資源の減少がもたらす課題についての講演が行われた。その後、三重県生活環境部大気・水環境課より「河川・伊勢湾の現状について」の講演も行われた。



県内各地で水産関係イベント開催予定
—10月27日(土) 奈屋浦市場—
—11月3日(土) 尾鷲魚市場—

10月27日(土)、奈屋浦市場（南伊勢）において『第5回おさかなフェスタ南伊勢』、11月3日(土)、尾鷲魚市場にて『第8回おわせ魚まつり』が開催される。魚離れが進む若年層をターゲットに、魚の魅力をより実感してもらい、

魚食普及・PR を目的に開催しているもので、当日は、名産の海産物を使った料理や体験イベントも開催される予定。



【主な予定】

- 10月20日(土)
 - ・白川町森林整備活動 (岐阜・白川町)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。